

---

# 連作『小さな僕』

雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

連作『小さな僕』

### 【Nコード】

N47780

### 【作者名】

雪

### 【あらすじ】

短歌です。

テーマは、、、、特にないです（＾０＾；）  
10くらいなのでさくつと読めます！

・・・多分

**(前書き)**

本製品は恋愛30%

自虐20%

心理20%

その他30%

できております。

揺れるから  
危ないからと  
抱きしめる  
気付いたならば  
無視して下さい

好きならば  
誠意を見せてと  
言う君は  
僕に好かれる  
準備はいいかい？

茶を飲んで  
紅茶を飲んで  
煎茶飲む  
私の好きな  
飲み物はお茶

秋の月  
揺れてるすすき  
見てる僕  
実は震えて  
いるの助けて

暗闇を

走ってみたのは  
いいけれど  
そういや次は  
右なんだよね？

引っ越しの  
準備をしながら  
思い出す  
そういや今日は  
君と会える日

脚組んで  
ふんぞり返って  
爪を噛む  
大人？子供？  
どっちもなんです

雨でした  
君がサヨナラ  
いいました  
悲しいからかな  
雨でした

もしここが

旨いと教え

られてても

全部を食べたい

きみを食べたい

もしここが

不味いと教え

られてても

全部を食べたい

きみを食べたい

実は僕

人間でした

知っていた？

足りない部品を

探しています

胸を揉む

気持ち良くって

胸を揉む

殴られながらも

僕は胸揉む

クラゲみて

自分のようだと

笑うきみ

海月のようだ？  
全く同意だ

なんでもない  
なんでもないほら  
また君は  
そうやって僕を  
突き放していく

目を閉じて  
目を開けないで  
口閉じて  
心開いて  
白旗挙げた

いつまでも  
グダグタやるのは  
悪いこと  
君とグダグタ  
するのはいいこと

缶のなか  
コーンの粒を  
探してる  
貧乏？  
うるせえ

小さくて  
小さく小さく  
そこにいた  
僕はいつまでも  
そこにいた

雪が降り  
涙が降り  
バスを降り  
マフラーを織り  
冬の香り

まっつてよ  
まっつているよ  
いつまでも  
最後の五文字  
意外と恥ずかしっ

とりあえず  
まだまだ走る  
つもりですが  
心の傷は  
見て見ぬフリで

流れてく



涙 嬉しい

限りです

僕は人間

まだまだ人間

ドア開く

閉めて開いて

ドア閉まる

たまには開けっぱなし  
でもいいよ

（後書き）

今僕を

小さいと思う

僕なんか

小さいあなたと

言われて当然

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4778o/>

---

連作『小さな僕』

2010年10月24日01時45分発行